

# ナチ・ドイツにおける労働動員

—ドイツ人、外国人、強制収容所囚人：ユンカース航空機・発動機製作所を事例に—

増田好純 著 大津留厚・石田勇治 編 令和4年12月発売

ナチ体制下の強制収容所システムとそこにおける労働を、ナチズムの申し子と言われるユンカース社の工場における労働の現場に着目して解明し、ナチ収容所とドイツ社会の関係に新しい視点から切り込んでいく。

本書は 2021 年に突然の病で永眠されたドイツ現代史研究者増田好純氏の学位論文と関連論文から構成されており、歴史学界、特にドイツ近現代史研究への大きな貢献となると判断し、氏が修士課程を過ごした神戸大学から、東京大学ドイツ・ヨーロッパ研究センター(DESK)の協力とドイツ学術交流会(DAAD)の支援を受けて公刊する。

## ナチ・ドイツにおける労働動員

—ドイツ人、外国人、強制収容所囚人：  
ユンカース航空機・発動機製作所を事例に—

著者 増田好純  
編者 大津留厚 石田勇治



### ナチ・ドイツにおける労働動員

—ドイツ人、外国人、強制収容所囚人：ユンカース航空機・発動機製作所を事例に—

#### 序章 はじめに

- 第一節 問題の概要
- 第二節 研究史と問題の所在
- 第三節 本論文の問題設定、視角、構成
- 第四節 史料状況

#### 第一章 強制収容所システムの成立と展開（～ 1941/42年）

- 第一節 強制収容所システムの成立と組織
- 第二節 SSによる強制収容所システムの統合（1934～1937年）
- 第三節 都市建設計画と強制労働の始まり
- 第四節 民族政策と囚人労働動員体制の整備
- 第五節 戦争経済における強制収容所システム経済化の始まり
- 第六節 強制収容所監督局の経済管理本部への移管とSS軍需企業構想、囚人動員に関するヒトラーの原則決定

#### 第二章 ヴァイマル期からナチ期初頭におけるユンカース社の前史的展開

- 第一節 デッサウ時代のフーゴー・ユンカース
- 第二節 アーヘン工科大と航空力学：研究者フーゴー・ユンカースの出発点
- 第三節 第一次世界大戦と航空機生産への進出
- 第四節 ナチ政府による国有化

#### 第三章 ユンカース社における労働動員 —ドイツ人従業員の「工場共同体」

- 第一節 ナチ・ドイツにおける航空軍備戦略と航空機産業
- 第二節 国策企業としての再出発—ハインリヒ・コッペンベルクと新経営陣
- 第三節 新経営者コッペンベルクとユンカース社の拡大
- 第四節 JFMにおける「工場共同体」の理想と現実

#### 第四章 JFMにおける労働動員政策の先鋭化

- 第一節 ドイツ人の「工場共同体」からヨーロッパの「労働者共同体」へ
  1. ナチ・ドイツにおける外国人労働者政策の展開
  2. JFMにおける外国人動員—ヨーロッパの労働者共同体への道
  3. JFM外国人労働者の就業・生活実態
- 第二節 強制収容所囚人の動員：統合の終焉と生産能率の最大化
  1. JFMにおける試験的動員の成功—シェーネベック航空機分工場の事例
  2. JFM外部収容所複合体の拡大と展開
  3. 労働現場におけるドイツ人、外国人、囚人—ドイツ社会のマイクロコスモス

ナチ強制収容所とドイツ社会 —国家による暴力独占の境界線—

B5判上製・268ページ 定価 4,950円(税込)

発行：神戸大学出版会 神戸市灘区六甲台町2-1 神戸大学社会科学系図書館内 TEL078-803-7315 FAX078-803-7320

発売：神戸新聞総合出版センター 神戸市中央区東川崎町1丁目5-7 神戸情報文化ビル9F TEL078-362-7138 FAX078-361-7552